

4-1-3 平成28年度 積立会計収支決算

平成28年度 積立会計収支決算書

収入の部

北海道高等学校教育研究会 情報部会

科 目	収 入 額	摘 要
繰 越 金	151,924	
積 立 金	0	特別会計より
雑 収 入	0	
合 計	151,924	

支出の部

科 目	支 出 額	摘 要
運 営 費	0	
役 務 費	62,300	高情研全国大会派遣旅費
事 務 通 信 費	432	振込手数料
予 備 費	0	
合 計	62,732	

収入額 151,924 支出額 62,732 残高 89,192

[平成29年度へ繰越]

平成28年度会計収支について、監査の結果、適正であることを認める。

平成29年1月19日

監査（監事）

今井 豊章

川村 雅人



4-2 平成29年度 役員構成

01	部会長	毛内 顕史	北海道札幌東豊高等学校	
02	副部会長	高橋 昭仁	北海道札幌北高等学校	
03	〃	古屋 順一	北海道旭川工業高等学校	
04	監事(新)	小甲 正	北海道札幌南高等学校	監査
05	〃(新)	天野 将寿	市立札幌大通高等学校	監査
06	幹事	池田 弘樹	北海道滝川高等学校	サマースクール/新授業レシピプロジェクト
07	〃	伊藤 崇	北海道伊達高等学校	サマースクール/キャラバン研究会
08	〃	梅田 充	北海道札幌英藍高等学校	会計/サマースクール/ワークショップ/企業展示
09	〃	奥村 稔	北海道有朋高等学校	サマースクール/ワークショップ
10	〃	鎌田 亮樹	旭川藤女子高等学校	キャラバン研究会/サーバ管理
11	〃	金谷梅太郎	北海道鹿追高等学校	
12	〃	佐々木 寛	北海道小樽潮陵高等学校	情報部会アンケート
13	〃	杉本 式史	北海道札幌新川高等学校	サーバ管理
14	〃	津端 公彦	北海道小樽潮陵高等学校	新授業レシピプロジェクト/企業展示
15	〃	古澤 正三	札幌北斗高等学校	サマースクール
16	〃	前田健太郎	北海道札幌北高等学校	情報教員養成プロジェクト/キャラバン研究会
17	〃(新)	宮川 尊充	北海道帯広緑陽高等学校	サマースクール
18	事務局担当	鶴間 伸一	北海道札幌英藍高等学校	運営・渉外/基調講演/研究紀要(募集)/情報教員養成プロジェクト/キャラバン研究会(サマースクール)/

4-3-1 研究紀要

例年通り、研究紀要への執筆者を choice ウェブページおよび choice メーリングリストを通して募りましたが、今年度は執筆の希望はありませんでした。

来年度も執筆の募集を行います。日頃の研究の成果を研究紀要としてまとめてみませんか。執筆を希望される方は高教研情報部会事務局担当鶴間(neo_turuq@yahoo.co.jp)までご連絡ください。

4-3-2 キャラバン研究会

キャラバン研究会は、積み重ねた実践を互いに共有し合うことで、生徒の学習意欲を高めながら全道各地で質の高い教育活動ができることを目指し、実務的な研修を行うものです。

学校事情や移動距離などにより1月の高教研情報部会の研究集会に参加できない先生方や、都市近郊から離れた土地で情報科を一人で担当して悩みを抱えている先生方などが、少しでも負担を感じることなく研修に参加する機会を設けるために始めました。

キャラバン研究会は、今までに33回の開催を経て、様々なフィードバックを得て少しずつ進化し続けています。教育実践の発表だけでなく、ワークショップや懇親会を通じて、多くの仲間達との出会いの場としても大きな位置を占めるようになってきました。これからも各地の学校を会場としてお借りして、より多くの先生方と交流できる機会を持ちたいと願っております。

キャラバン研究会は、皆様からのご要望があれば地域の研究会と共同開催させていただくことも、単独開催させていただくことも可能です。全道各地を巡回することも目標の一つとしています。学校事情等で1月の研究大会に参加が難しい地域での研究会開催や、地区の研究会の活性化にもお役に立てると思います。ご要望があればお応えします。高教研情報部会事務局担当鶴間(neo_turuq@yahoo.co.jp)までご連絡ください。

キャラバン研究会 昨年度までの実績

	A 地区 石狩・空知・後志	B 地区 渡島・桧山・胆振・日高	C 地区 上川・留萌・宗谷	D 地区 オホーツク・十勝・釧路・根室
平成 18(2006) 年度		01 伊達 (09月16日)		
平成 19(2007) 年度	02 倶知安 (10月27日)25名		03 旭川藤 (2月23日)22名	
平成 20(2008) 年度		04 函館西 (10月18日)17名		05 帯広三条 (10月25日)26名
平成 21(2009) 年度	06 岩見沢緑陵 (8月6日,7日)40名		08 旭川藤 (2月13日)13名	07 釧路江南 (11月13日)31名
平成 22(2010) 年度	09 岩見沢緑陵 (8月5日,6日)21名			10 紋別 (10月16日)17名
平成 23(2011) 年度	11 岩見沢緑陵 (8月5日,6日)22名 13 小樽工業 (11月21日)19名			12 音更 (10月28日)11名
平成 24(2012) 年度	14 岩見沢緑陵 (8月7日,8日) 17 小樽工業 (11月22日)20名	15 函館西 (10月6日)12名 16 室蘭栄 (10月12日)22名		
平成 25(2013) 年度	18 札幌北 (8月7日,8日)29名 19 滝川 (11月8日)17名 20 岩内 (11月14日)11名		21 旭川藤 (2月8日)12名	
平成 26(2014) 年度	22 札幌北 (8月4日,5日)20名 23 岩内 (11月12日)20名		25 旭川藤 (2月7日)13名	24 阿寒(12月18日) *悪天候のため中止
平成 27(2015) 年度	26 札幌北 (8月4,5日)19名 28 小樽桜陽 (11月13日)12名	27 静内農業 (10月30日)14名		
平成 28(2016) 年度	29 札幌北 (8月3,4日)45名 30 小樽桜陽 (11月11日)12名	31 伊達 (12月9日)7名		

平成 29(2017) 年度の活動

第 32 回キャラバン研究会 in 札幌 (北海道札幌北高等学校 2017年8月7日、8日)
 第 33 回キャラバン研究会 in 帯広 (北海道帯広柏葉高等学校 2017年10月25日)

4-3-3 情報教員養成プロジェクト

情報科教員の採用がない北海道において、教科指導力のある若い情報科教員を増やすために、教科「情報」を指導したいという教員希望の学生を支援しようと、昨年度「情報科教員養成プロジェクト」を立ち上げ、道内の大学との連携をこれまで模索してきました。

今年度に入って、千歳科学技術大学と北海道情報大学での情報科教育法担当教員に、このプロジェクトの概要を説明する機会を持ちました。その後、千歳科学技術大学とは、学生が作成した教材とそれを利用した授業案発表会に高校側の教員が参加したり、学生が高校の情報の授業を見学したりしました。また、北海道情報大学とは、高教研情報部会、そしてこのプロジェクトがどのような取り組みをしているのかを、担当教員に直接見学してもらうことになっています。

本日の研究集会にも、両大学の教員や学生の方々に参加してくれています。今後もさらにこの取り組みを充実させ、意欲のある学生の教科指導力の向上を支援することで、北海道の情報教育の充実に貢献していきたいと考えています。

4-3-4 新授業レシピプロジェクト

情報部会では今までも授業の指導案や具体的な指導方法をまとめ、その案を元に実際に様々な学校で授業を実施するというプロジェクトを実施してきました。新授業レシピプロジェクトとはこれをさらに利用しやすい形とするため、授業案だけではなく、授業で活用できるギミックや演習等を、A4 裏表に収まるレシピとしてどんどん増やしていこうというものです。レシピですので書かれている通りにすれば誰もが実現できるものでなければなりません。これを集めていくことで、様々な実践を情報科教員間で共有していきたいと考えています。現在、専用のCMSを構築し、より簡単にアップロードやダウンロードができるように工夫を加えているところです。

4-3-5 平成29年度高教研情報部会アンケート集計結果報告

この度は、お忙しい時期にもかかわらず、情報部会アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。アンケートの集計ができましたので、ご報告致します。なお、自由記述の回答に関しては、各校の様子ができるだけダイレクトに伝わるよう、ほぼ原文の形で載せさせていただきました。多くの先生方のご参考になれば幸いです。

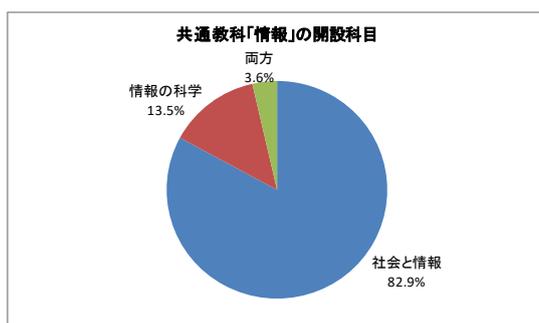
調査内容

1.学校名 2.管内について

全道各地 112 校、122 名の先生方からご回答をいただきました。

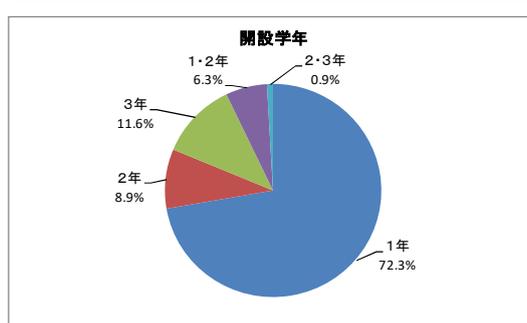
3.共通教科「情報」の開設科目

開設科目	校数	割合
社会と情報	92	82.9%
情報の科学	15	13.5%
両方	4	3.6%
合計	111	100.0%



4.上記3の開設学年

開設学年	校数	割合
1年	79	70.5%
2年	10	8.9%
3年	13	11.6%
1・2年	7	6.3%
2・3年	1	0.9%
その他	2	1.8%



5.上記3以外の開設科目

- ・「プログラミング入門」、「デジタル映像入門」
- ・3学年で選択 情報探求(学校設定科目)2単位
- ・3年 表現メディアの編集と表現
- ・情報の科学(選択3年) 社会と情報(選択3年)
- ・2学年フィールド選択で「情報の科学」、3学年フィールド選択で「アルゴリズムとプログラム」「情報デザイン」「表現メディアの編集と表現」各2単位
- ・情報実習A、情報実習B
- ・実用情報演習I、実用情報演習II 情報演習I
- ・産業社会と情報 課題研究
- ・情報の表現と管理(3年次)
- ・3年選択で専門教科「情報」課題研究
- ・学校設定科目として情報活用 (3年文系選択科目4単位)
- ・学校設定科目「情報と表現」

- ・情報メディアの表現と編集
- ・2年選択科目「情報処理I」、3年選択科目「情報処理I・II」
- ・農業情報処理
- ・情報デザイン
- ・専門教科「情報」…ネットワークシステム(2年) 学校開設科目…Webデザイン(3年)
- ・情報の表現と管理 表現メディアの編集と表現
- ・学校設定科目:表現メディア :デジタル表現
- ・情報演習 情報基礎
- ・学校設定科目でITスキル
- ・農業情報処理(1～2年生)
- ・情報処理
- ・情報デザイン

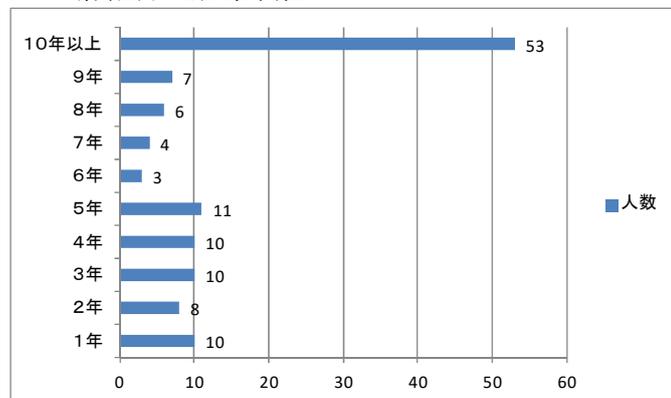
6.職

職	人数
教諭	118
期限付き教諭	3
その他	1

7.専任かどうか

専・兼任	人数
「情報」専任	35
他教科と兼任	87

8.情報科の指導年数



9.教員採用時の指導教科

教科	人数
商業	72
数学	17
理科	8
期限付き	5
情報	4
農業	3
情報・商業	3
国語	2
外国語	2
地理歴史	1
家庭	1
水産	1
公民・商業	1
地歴・商業	1
理科・情報	1

10.今後主とする指導教科

教科	人数
商業	45
情報	33
情報・商業	13
数学	9
理科	6
数学・情報	3
農業	3
国語	1
地理歴史	1
公民	1
公民・情報	1
外国語	1
家庭	1
理科・情報	1
水産	1
地歴・情報・商業	1

11.高教研研究集会への参加状況

研究集会への参加	人数
(情報で)ほとんど毎年参加している	15
(情報以外の教科で)ほとんど毎年参加している	5
(情報で)ときどき参加している	15
(情報以外の教科で)ときどき参加している	20
めったに参加しない	30
参加したことがない	37

12.高教研情報部会のメーリングリストについて

メーリングリスト	人数
すでに参加している	32
知っているが参加はしていない	48
メーリングリストの存在を知らなかった	31
現在は参加していないが、将来参加したいと思っている	10

13.情報科授業の指導内容や特色

- ・教科書の内容を進めながら、調べ学習(著作権など)やプレゼンテーション等の機会を設けた実習をできるだけ取り入れて授業を実施している。また、アプリケーションを活用した文書の作成や表計算を使って基礎関数を用いたデータ処理の演習を実施している。
 - ・高度情報化社会に対応する資質・能力を基礎的・基本的な知識技能の習得に特化しつつ、生徒の状況に合わせた授業展開を心がけている。
 - ・実習が中心です。初心者にも分かりやすい内容で取り組んでいます。
 - ・情報の科学的な理解とその活用に重点を置いて指導を行っている。基素・基本的な考え方を学ばせ、簡単な例題などで活用させている。
- (1)基礎・基本的なビジネスソフトの活用方法を身に付ける。
 (2)情報モラル、セキュリティに関する意識を高める。(3)検定取得の実力を身に付ける。
- ・Word、Excel、PowerPointを使った実習の割合を増やし資格取得につなげている。・本校は総合学科であるため、科目選択につなげられるように2年次選択科目「情報処理(商業)」の内容と関連づけられる部分の割合を増やしている。
 - ・モラル教育・キーボード離れた生徒への指導
 - ・基礎・基本を重視・情報の授業を通して、話す・聞く・確認するの能力を向上させる。
 - ・教科書の内容・エクセルの使用法
 - ・教科書の内容の学習・プレゼンテーション・ワード、エクセルの学習
 - ・教科書を中心とした基本的な知識の習得。・検定を活用した実技学習。
 - ・情報モラルの分野において、調べ学習を中心とし、パワーポイントを活用したプレゼンテーションを行っている。
 - ・1学期:word・excelの基本操作学習/テーマに沿って資料作成 2学期:見学旅行調べ学習/見学旅行報告会 3学期:将来の夢プレゼンテーション(職業学習)
 - ・①座学(情報の活用、表現、モラル) ②実習(Word、Excel、PowerPoint)
 - ・1年;グループ学習による企画・立案・発表 2年;仮説を検証するためのクラスへのアンケート作成から統計分析・発表・レポート作成
 - ・1年次に座学と実習の割合を5分5分にして進めています。座

- 学では著作権や個人情報の取り扱いをはじめ、携帯等の情報モラル、情報社会の光と影などを教えています。実習では著作権等を考えながら、学校祭のポスター作りやホームページの作成、表計算ソフトの使い方などを教えています。2・3年次の選択科目については、ワープロ検定等の検定試験合格のための授業が主となっています。
- ・1年生で社会と情報の授業を教科書中心に2単位で教えており、主にワード・エクセル・パワーポイントの基礎も教えています。2年生選択授業で情報の科学の授業を教科書中心に3単位で教えており、ワープロ上級や情報処理検定3級を取得できるように合わせて教えています。
 - ・2年時に商業科目「情報処理」に繋げるように内容を精選している。また、情報モラルについて一般的な内容を指導している。
 - ・SNSのトラブル事例などを取り上げ指導。
 - ・アクティブラーニング等の導入
 - ・アプリケーションの利用に重点を置いている。
 - ・いろいろツールを探しながらできるだけ、情報システムの仕組みを実習を通して体験的に理解できるようにしている。
 - ・オフィスを用いての実習と座学を交互に行っている。2年からは情報処理を必修にしているので資格取得にも力を入れている。30年度以降はカリキュラムを変え、プログラミングを必修にし、1年でその基礎部分を学習させる。
 - ・コンピュータを主に利用した実習がメイン
 - ・セキュリティ知識やリテラシーの低い生徒が多いので、何も考えずにIT機器を利用することの危うさや、今後予想される社会の変化にどう対応していくべきなのかを、時事ネタに絡めて説明するように取り組んでいます。また、IT用語に代表されるような略語を略さず英語単語の意味から理解できるように説明を多くする事で、教科横断的内容を意識しています。
 - ・なるべく教科書に沿ってやろうと努力しています。情報モラルの事は、強く指導しているつもりです。
 - ・パソコンの基本的操作を生徒全員が行えるようになるよう指導。学校紹介ポスター等の作成。
 - ・フィールド選択で1クラスのみ情報関係の授業を多く扱うとともに、情報大学との連携授業を行っている。
 - ・ふるさと教育との連携(パワーポイントで利尻等のことを調べ発表を行う)
 - ・プレゼンテーション、P検受験。

- ・ほぼ教科書通りに進めています。進学後のレポート作成のことも考え毎時間 10 分間はタイピングをさせています。Excel も教科書には出ていない、商業でいう2級までの関数は教えて活用できるようにしています。
- ・モラル指導。実習は浅く広く。
- ・ログインサーバーを教員だけで作成し運営している。学校設定科目により、表計算、ワープロ、プレゼンのソフトの指導を行っている。など
- ・ワード・エクセル・パワーポイント等
- ・ワード・エクセルの基本的な操作
- ・学校 SNS, e-Learnig システム, 新聞, 新聞記事データベースの活用。「創造社会」に適應できるように指導内容を精選している。
- ・基礎学力が低い生徒(小学校4年生程度)が8割位いる。教科書を説明して短くまとめたものを、なるべくブライントタッチを意識して打たせ印刷をして達成感を多少なりとも味わわせている。一時、テレビのニュースやパソコン関係の雑誌を利用して授業展開したが、現実には厳しかった。
- ・基礎基本の徹底(反復学習) 情報モラル教育の充実
- ・基本を大切に、個々の能力に応じた展開
- ・協同学習を取り入れ、情報の課題について個人個人がみんなに調べた内容を共有する。
- ・教科書どおり進めている。特色は特に無い。
- ・教科書に沿った演習中心の授業
- ・教科書に準ずる。
- ・教科書に即して指導。これといった特色はございません。
- ・教科書の内容で行っています。
- ・教科書の内容をベースに行っている。特に、アルゴリズム、ドリトル、ディベートなど生徒の活動を重視した授業展開を心がけている。
- ・教科書を逸脱した内容が多く取り入れられている
- ・教科書を使用しつつ、コンピュータの演習を行っている。
- ・教科書を使用している座学 タイピング・エクセル・プレゼン
- ・教科商業と兼ねているため、検定試験取得に偏っている。
- ・教室内にサーバを構築して wiki や twitter クローンを活用 プログラミングの単元は例年生徒からの関心度が高い
- ・教書に沿った演習中心の授業
- ・検定試験などの実技も重視している
- ・高大連携事業として北海道情報大学と連携している。
- ・今年度、「情報」免許所持者が異動のため、免許教科外教科担任の申請を行い、教科指導を行っている。
- ・今年度より SSH 指定を受け、社会と情報を 2 単位減単し、学校設定科目「SS 社会と情報」を 2 単位設置して社会と情報の内容を、科学研究に活用できる技能に深化させた内容で扱っている。前期に実施した具体的内容としては、課題研究の学校設定科目の中の研究テーマの設定に活用するため、問題解決の手法の利点について解説し実践している。また、定量的、定性的データの扱いについて具体例を交えながら考察したりしている。今は中間発表会のポスターセッションにむけて

- PowerPoint で A 版一枚の課題研究のポスターを作成の指導を実施している。
- ・座学(教科書の内容)と実技(日検検定の内容)を同じ割合程度で行っています。座学はなるべく自ら考え体験的に学べるように工夫しているつもりです。最近では、アンプラグドコンピュータサイエンスを参考に取り入れています。短時間ですが、アルゴリズムやドリトルを使用してプログラミング的思考の育成に取り組んでいます。
- ・座学と実習が半々。
- ・指導内容:教科書準拠、調査研究、プレゼン、ドリトル、python、
- ・実技(実習)をできるだけ多く取り入れている。
- ・実技・演習に重きをおいている
- ・実技と理論とを前半後半に分けて授業を展開しています
- ・実技中心の授業です 理論は基礎とマナー
- ・実習6:座学4 毎時間、情報に関するニュースについて触れる。
- ・実習では、ワープロソフトから入り、情報検索とそれをまとめる力をつけるなど、幅広い内容で行っている。並行して情報モラルの指導に重点を置き、生徒指導部と連携し、より生徒に伝わるような取り組みの工夫を行っている。
- ・実習を重視した内容である。ワードや表計算を活用すること。新聞記事などの学習を通して、覚えるだけでなく「考える」授業を展開できるよう心掛けている。
- ・社会と情報の授業の中で、全商ビジネス文書実務検定3級、全商情報処理検定3級を教えています。
- ・社会と情報の中での情報モラル等についての指導。
- ・社会と情報を開設していますが、プログラミングに関する内容を3時間程度年度末あたりで実施しています。
- ・主に全経文書処理、ワープロの問題集をテキストとし、進路選択を広げるため資格取得を促すとともに農業情報を主体的に活用する能力を身につける。
- ・商業科目との連携
- ・商業系検定取得を念頭に進めている
- ・情報の成り立ちや情報リテラシー等を学ぶと同時に、商業科目「情報処理」と並行して、全商協会の検定合格を目指して文書処理ソフト、表計算ソフトの操作方法を習得している。
- ・情報モラルの徹底を基礎とし、実技へつなげていく内容。
- ・情報モラルや情報リテラシーを身につけさせるために具体事例を取り上げながら説明する。ワード、エクセル、パワーポイントの基本的技能を身につけさせる。
- ・情報モラルを中心とした授業
- ・情報化社会に必要な基礎・基本的な知識・技術の習得
- ・情報科教員 1 人、TT無しなので、座学が多めの授業です。
- ・情報機器、情報社会、情報とメディア、情報モラルと社会のルール等、ワープロ、表計算、プレゼンテーション等
- ・情報機器の操作、デジタル表現の学習等
- ・心理学・認知科学的側面から、情報に接する際のバイアスとその背景、およびそれらに対する対処方法を、実験的に体験する。
- ・新・情報の科学(日本文教出版)とケーススタディ情報モラル

(第一学習社)を使用して授業している。前期が終わった今、実習よりも座学が中心であった。特に情報モラルには、力を入れて指導しているつもりである。

- ・進学にむけて資料作成・情報検索・レポート作成に困らないリテラシー能力の育成。情報発信に関わるモラル教育。DTM やポスター作成、プログラミングによる作品制作。
- ・生徒の学力的な問題もあり、年度当初はローマ字の確認とワープロの入力練習・タイピングソフトによるタッチタイピングの練習などを行っています。教科書は「116日文317新・見てわかる社会と情報」を使用して、1年をかけてすべての内容を学習するようにしています。
- ・前期は教科書を使用しての座学 後期はExcelのソフトを使用した実技
- ・全商ビジネス文書実務検定3級取得を目標の一つにしている。静止画像・動画編集の実習や情報モラル教材を使用した授業を展開している。
- ・総合学科でありプレゼンテーションの機会が多く、実践的な内容を重視している。プレゼンテーションソフトの使い方だけではなく、より効果的かつ効率的に自分の意見を伝える方法などに特化している。
- ・大学の研究会の紹介、アクティブラーニングの活用、情報を科学的に紹介しながら、将来の時代を見据えた情報教育を実施

14.情報の授業を担当する上での悩み等

- ・自分のモチベーションが上がらない。義務感で指導している。
 - ・教科書の内容をそのまま教える場合、座学一斉授業になりがち。
- ・PCにいろいろソフトウェアが入っているが、指導方法があまりにも自由なので、指導教員の技量で授業の質が決まる(情報専門ではないので、質が悪いということ)。
- ・情報機器の設備が充実していき、高校入学後情報機器の質が落ちている。(小中学校の方が設備が整っている) ・インターネットの速度が遅い ・座学と実習とのバランスが難しい
- ・生徒の実態に合った教室環境ではないこと。 ・元音楽教室であること。
- ・1クラスを一人で担当しているので、基礎学力の低い学年やクラスの場合は対応しきれない。基本的な操作を指導しているが、それほど検定試験に合格したいという意欲・関心があるわけでもない、非常にやりづらい。
- ・1人しか担当者がいないので、機器のトラブルなどに対応するのが厳しい。教室に空調がないので、夏は暑い。
- ・1人で担当しており、サブの教員もいないため、実習時のトラブルに時間を取られ思ったように授業が進まない。
- ・1人持ちなので相談する教員がいない。
- ・2単位で教科書の内容をすべて扱うのは難しい
- ・ICT化を図っているが、機材が揃わず困っており。予算が厳しい。30年度以降はタブレットを個人負担で持たせるので学習面で幅広がると予想している。
- ・office 実習、教科書の通読以外で、の面白味のある教材をなか

している。

- ・定期考査前に教科書を集中的に取り組み、それ以外の時期はコンピュータの利用の仕方について行っている。
- ・特色ではありませんが、本校の指導内容を回答いたします。パソコンを用いた授業と教科書や問題集を利用した座学を半々で、授業をおこなっています。
- ・特設クラスを設置しており、全クラス TT による授業 情報モラル教育の一環としてコンペティションに参加
- ・日本語ワープロ検定問題集、情報処理技能検定表計算の問題集を活用し、ソフトの基礎知識、基本操作技術の習得を目指している。
- ・日本情報処理検定協会の検定内容と絡めながら指導している。
- ・日本情報処理検定協会の日本語ワープロ検定を受験させている。
- ・日本情報処理検定協会の文書デザイン検定、プレゼンテーション作成検定、情報処理検定(表計算)、日本語ワープロ検定の試験問題の練習を通してワード、エクセル、パワーポイントの操作を中心に指導。
- ・農業学習を絡めた指導 全経文書処理検定に対応した学習
- ・普通科 1 学年 7 クラス 2 単位、情報の科学を実施
- ・文書作成、表計算、社会と情報について
- ・問題解決の重視、SSH との連携

なか用意出来ない。

- ・PC教室の設備が古くなってきており、整備に時間がかかることが多くなってきた。
- ・TTが無い。一人教科なので、全てのカリキュラム系の会議は出づっぱり。相談相手無。すべての業務が一人。
- ・TTであるが、分業制のような感じになっているところ。
- ・TTの扱い
- ・TTを組んだり、商業科の先生と連携をすることが多いが、一人教科となり研鑽が怠慢になりがち
- ・xpをまだ利用している。プログラミングは敷居が高と感じる生徒が多い。
- ・この10年ほどは、免許商業の教員が臨時免許で情報を指導しています。それ以前は不明。
- ・コンピュータの起動に時間がかかることや、学習支援ソフトやアクティブディレクトリの正常な起動ができないことによって、授業が滞ることがある。
- ・コンピュータをほとんど利用したことのない生徒が増えてきた
- ・なかなか機会がないので、他校の情報の授業を見学してみたい。
- ・ネットワーク回線が遅く、フィルタリングが強すぎる。
- ・パソコンに入っているソフトウェアの種類が少ない。
- ・プログラミング導入のノウハウ。
- ・リースパソコンのトラブル
- ・一人で教えているので、TTで指導を行いたい。
- ・学校側から生徒の office へのリテラシーを向上させて活用出来

るようになってほしいという声大きい。実践したいこと(プログラミング等)がたくさんあってもやらなければならないことにより優先順位が下がってしまっている。2単位で出来ることに限界がある。

- ・学力差が大きいクラスで一人で実技の授業を行うと、対応しきれないときがある。
- ・基礎学力不足が痛い。国語力と算数の力が特に厳しい。なかなか前へ進むことができない。
- ・機器の更新・修理が遅く、常に複数台が稼働できない
- ・機材の老朽化。ネットワークの遅延。厳しすぎるフィルタリング。
- ・教育課程編成上3年次での履修となったので、あまり時間をかけた実習などがやりづらい。
- ・教科書というよりは、パソコンに不具合が出た時に、対処ができない事です。 免許外ですし、システム管理者的な事がわかりません。
- ・教科内での考えの食い違い 授業内容について、検定試験に向けての取り組みに多くの時間を費やし、教科書の内容についてほとんど触れていないことについて
- ・教材研究する時間がない。
- ・高校入学時において、レベルの差を相当感じる。 又生徒が使用できるパソコン台数が36台しかないため(今年度1学年は39人入学)物理的問題も生じている。
- ・今後、プログラミング教育の必修化に向けてどのようなカリキュラムを組んでいくか検討中
- ・今後の教科情報の内容
- ・今後プログラミング教育が入っていく中で、自分自身が指導できるかどうか。
- ・今年度から社会と情報で3単位から2単位に変更になり、授業の進め方や内容を検討しながら行っており、苦慮しております。
- ・座学での生徒の反応が悪い 伝えることが多いので、すべてを実施できない
- ・座学と実技の折合い
- ・思考コードを用いた授業展開
- ・私自身は現在数学と情報の2科目を担当しているので、授業準備が大変です。 また、毎年やる事が同じになってしまい、何か新しいことをやって、生徒に落とし込むことができればとも、日ごろから考えています。
- ・次期学習指導要領でのプログラミングの指導について
- ・自宅にパソコンがない生徒やほとんど触ったことがない生徒もいて、レベル差がかなり激しいこと
- ・実習を多く行わせたいが、教科書内容が消化できなくなってしまうので、思うように実習が入れられない。
- ・実践事例や指導手法の蓄積が不十分であること
- ・授業時数が多い
- ・授業内容について、試行錯誤しながら実施している。
- ・授業内容の改善相談等
- ・授業方法、実践例の情報収集
- ・商業・情報科として設置されているが、ほとんどが商業科の教員で、情報科の教員が不足している。また、情報科教員は校

内 ICT 環境を整える仕事を任されるので、教材研究に割く時間がまったくない。

- ・情報の授業というより、他の業務が多いため教材研究時間の確保等
- ・情報の授業を担当して1年目なので、というのは言い訳にしかないが、自分自身の知識があまりにも足りていないことに危機感を感じています。
- ・情報の専門教諭がおらず、毎年他教科の時数が少ないものに振っている。そのため、1年次授業の引き継ぎが難しく、次年度への反省があまり活かされていない。
- ・情報の専門的知識が乏しく研修機会も少ないため、実践力につながる研修があれば参加したい。
- ・情報モラル・リテラシーにおける十分な指導・徹底(理解のさせ方)
- ・情報モラルについて具体例をあげ説明をしてはいるが、効果的な指導方法があれば知りたい。
- ・情報モラルの効果的指導
- ・情報機器の不足
- ・情報技術の進歩の速さについていけないこと。
- ・情報室の環境整備(教室とPC)
- ・新学習指導要領のプログラミングをどこまで指導したら良いか。
- ・進路に少しでも役立てるように検定での資格取得を取り入れているが、そのことが教科情報で行うべきかどうか悩んでいる。他の科目で実施することが現状では困難である。
- ・人工知能やネットワークの使用により自動化が進んでいる為、生徒の進路実現を目的とした実習科目の題材を特定できない。(プログラムは一部の生徒が対象で就職先で活用がほとんどない！)
- ・数学との兼任で、充実した専門性に富んだ授業が行えない
- ・生徒にとって、「分かる・楽しい」授業を考えて実施していますがなかなかうまくいきません。結局、パソコンに触れる時間が長い検定の学習内容が楽しくなり、生徒の興味がそちらへ集中してしまいます。情報の科学的理解や情報社会に参画する態度を養いたいです、コンピュータスキルに偏ってしまう。 教員の伝えたいことと生徒の興味関心に違いが生じてしまっている。ただ、私自身教諭の力不足であることに尽きるものでこれからも日々の教材研究に励みたいです。
- ・生徒の操作能力に格差が出て、授業の進度に影響する
- ・生徒の力に大きな差があるので、進度をどうすべきか悩みます。
- ・生徒一人一人の能力差が激しいことから、個に応じた指導に苦慮する。
- ・生徒個々の能力の差が非常に大きい。個別で指導しつつ、能力が高い生徒を伸ばすためにはどのような工夫をすればよいか。
- ・専任でないこと
- ・専門的な知識をもっと身に付けたい
- ・他の教員と横持ちで授業を持つ場合に、情報の免許を持っている者とは違う方で、指導内容を共有していても指導の観点と指導法が異なってしまうこと。

- ・他教科との連携について。
- ・担当1年目ということで、試行錯誤しながらの指導である。
- ・担当者が私1人しかおられませんので、指導内容が適切かどうかの確認がしづらい所が悩みです。
- ・中学校でのパソコン操作の指導の差
- ・定時制の生徒にとって、教科書の内容が専門過ぎと感じている
- ・特には無いが、8クラスを担当しているので、同じことを8回やるのがつらいです。
- ・入学時点での能力差と集中しての練習が苦手な生徒が増えた
- ・入力の遅い生徒への対応
- ・能力差が激しく、指導が困難などときがある。
- ・物心ついたときには既にインターネットが生活の中に当たり前にある世代であるため、便利である事に慣れており、自分が危

15.研究会等で学んでみたい

- ・最近プログラミング言語の研修が多いのですが、生徒が体験的に(最近ネットが繋がらない、授業支援ソフトが生徒機に繋がらないトラブルが多い気がする)、出来るならコンピュータを使用しない体験)コンピュータの仕組みやネットワークの仕組みを理解できる授業等の研修を受けてみたいです。(自分で考えて実践することが基本であることは重々承知しておりますが・・・)
- ・情報科目の指導方法(論)など。例えば、ランレングス圧縮の指導法や通信プロトコルの指導法など、他の方の実践事例を学んでみたい。
- ・具体的な教科指導方法 ・効果的な年間授業計画
- ・考査について・評価について
- ・1 新学習指導要領で小学生が学ぶプログラミングがどのような内容なのか。 2 必修以外の情報科目の内容や実習等 3 他校の実践事例
- ・SNSの指導に関する効果的な教材の情報収集
- ・アクティブラーニング的な授業内容
- ・アルゴリズムの効果的な指導法
- ・いつも参加したときのワークショップは面白いものばかりです。
- ・いろいろなプログラミング
- ・コンピューター、携帯のめざましい進歩で、人間の限界を感じますが、常に食欲に新しい知識を学びたいのですが、オホーツクにいると距離的なこと等で常に問題が生じます。
- ・ソフトウェアと活用した様々な指導法
- ・パターン・ランゲージによる対話ワークショップ。
- ・プログラミング、ただし、現実的に生徒が取り組みやすく、今導入されているパソコン室のコンピュータで実施できるもの。
- ・プログラミングの指導内容等
- ・プログラミングの導入や授業での工夫。
- ・プログラミングの導入事例
- ・プログラミングも良いのですが、情報のデジタル化とかネットワークとかの単元をどうやって授業として成立させていったら良いのか、の方で悩んでいます(プログラミングは参考書もいっぱい売られていますが、情報の授業づくりはふさわしい本を見つ

- 機意識を持たなくても世の中が勝手にバージョンアップしてくれるのでサービスを受け入れるだけでいいと感じている生徒が多く、「情報」に関する知識を必要と感じていない点で苦勞しています。その反面、社会に出る上で必要な情報リテラシーに関しては、意識が高いので、実習等は積極的。
- ・毎年誰が担当するか、わからない。
- ・免許外申請をしての教授となっており、一般的な内容にとどまる。
- ・免許状の問題、教科・科目としての必要性
- ・免許替えでの担当であるので専門性に欠ける。
- ・理論的な部分と実技的な部分を系統立てて計画をくむことがうまくできていません。

- けられていません)。
- ・プログラミング教育
- ・プログラミング教育について
- ・プログラミング教育の現状について
- ・プログラミング教育の取り組みについて、またその実践方法
- ・プログラミング言語の指導内容について
- ・ムードルなどのサーバー設定
- ・ラズベリーパイや Arduino などを使った制御系プログラムの入門講座 (プログラムが苦手な人でも何とかかなりそうなレベルで。)
- ・安価・簡単・深く学べるプログラミングが知りたい。
- ・一般的な内容をするものの定着が難しい。どのように工夫しているのか。
- ・映像作品の制作と評価
- ・過去に何度か研修会等に参加したことがあり、自分と生徒の興味関心に応じて参加してみたいと思います。
- ・開発環境を導入することのないプログラミングの実践。生徒の興味関心をひく授業内容。評価の方法。
- ・各校での情報の授業の内容
- ・学習指導要領の改訂とプログラミング教育について
- ・簡便なそしてxpでもできるプログラミング。
- ・教材の実例など
- ・限られたネット環境の中での指導方法
- ・公開授業がほとんどない
- ・考える授業の展開やその素材
- ・今後の教科情報の内容変更等
- ・今年度も実施していた、プログラミングの基礎講座は大変勉強になったので、今後も継続して実施して頂きたいと思っています。
- ・最新のソフトやアプリを用いての授業実践や、小ネタが知りたいです。
- ・参加してみたいとは思いますが、理科以外に数学も持っているので、「情報でこれを学びたい！」というところまではたどり着けません。

- ・指導に効果的に映像教材・ソフトウェア教材とその活用事例
- ・資格・検定取得以外の生徒の意欲を向上させるアプローチ
- ・授業で使用する教材について
- ・授業の実践事例について
- ・授業の実践方法を学んでみたいです。
- ・授業の実践例 アクティブラーニング
- ・授業実践例、学習指導要領改定に関連する授業内容等
- ・将来的に役立つ内容
- ・情報Ⅱのデータサイエンスに関して学びたいです。
- ・情報トラブル等の対応について
- ・情報モラルの効果的指導
- ・情報教育における今後の展望
- ・情報教育の今後のあり方や他校の実践例など教えていただき色々学びたいです。
- ・情報教員としては経験が浅いので、生徒が進学・就職したときに利用できる実用的なものや身につけておくと便利なもの等、さまざまな教材について学びたいです。
- ・新カリに向けて情報ⅠとⅡはどのような内容なのか知りたいです。
- ・新学習指導要領で新しく入ってくるもの
- ・新学習指導要領に対応した内容
- ・生徒指導上校内での携帯・スマホを制限している学校があると思うが、情報の授業については最も身近な IT 環境であるため、授業では使わせたいと考えている。他校では授業に使用させているのか？ 使用している学校はどのように扱っているのか？
- ・他の学校での実践
- ・他の先生方の授業をそのまま受けてみたい。

16.その他・ご意見等

- ・先進の技術を学ぶことは情報科の教員として当然ですが、それ以上に「授業」「機材トラブル」「評価」など素朴な 問題に頭を抱えている先生は多い(自分も含め)はず。多くの先生方と情報交換や悩みを共有できる部会を期待しています。よろしく願いいたします。
- ・声を纏めていただき、こんなに困っているのだぞと道教委とマスコミに広げてほしいです。
- ・独立した教科である以上、専任で行いたいというのが本音。数学との兼務ではどうしてもそちらがメインになってしまい、負担が大きい。専任化の声を上げるべきではないかと思う。
- ・昨年度免許を取得したばかりですので、情報の研究会に興味があります。
- ・情報の教員持ちで数学採用初任者として本校に赴任しました。おそらくオホーツク管内においては間口の関係から情報科専任をおいているのは本校のみかと思えます。同管内における情報科担当の実際としては商業科を兼任している教諭が担当しており、情報科の授業の内容としては、検定のためのワープロ検定、エクセル簿記への取り組みが授業の大半と聞いています。また、本校の道費による出張旅費の予算配分を鑑みると、

- ・他校での取り組み状況を知りたい。
- ・他校で行っている授業の内容の実践等。
- ・他校の指導実践のようなものを(特別な指導実践ではなく、平時に行われる指導実践)学ぶ機会等があれば参加してみたいと思います。
- ・大学入試改革による情報科への影響と対応方法について。特に高教研情報部会としての見解について。(研究する企業はあっても高教研としての見解はどうなっているのか？ 企業に流されてやれないか。)
- ・誰でもできるプログラミング
- ・中学校の技術家庭科の内容を学んでみたい。制御のあたり。あと、初等情報科教育みたいな、小学校段階で教えるべき内容や教授方法など、最近のプログラミング教育ブームをちゃんと教育課程や発達過程に照らして考える機会が欲しいな、と考えています。
- ・低学力の学校ではどのように授業展開をしているのか？ 実際の様子を見学したい。
- ・電機メーカーの協力を頂き「バッテリーの仕組み」、「電波の仕組み」の基礎の研究会。(高校で学んだ知識の使い方や将来への目標の明確になるのではないのでしょうか。他教科とのコラボも可能かと思われます。)
- ・年間を通して情報科をどう指導していくのかの計画ではなく実態、実践報告の実施 テーマとして学習指導要領の目標が達成できれば教科書の内容の扱いを変えて良いのか？ バランスは？ キー配置がわからないとかタイピングや漢字変換等が出来ず上達も著しく遅い生徒等の経験、能力差をどう解消するのか？
- ・普段どのような授業を実施しているのか

- 一月に行われる高教研情報部会の出張旅費への支出も厳しい状況です。私費による参加も部活動の大会の日程の重なりによって参加が難しい状態です。オホーツク管内における情報科の研修に関しては一切情報は入ってきません。初任研の情報科の教科研修を実施できるかも疑問です。なんとかオホーツクでも研修を受けられるような体制になってほしいです。あと夏のワークショップの連絡が来る前に、私費で全高情研に参加する段取りを組んでしまっていたので、高教研の情報部会に参加することが出来ませんでした。全高情研には参加してきました。また、MLについてMLへの入会方法がいまいちわかってないので教えて頂きたいです。
- ・部活動や協会の仕事が多く、研修に行けない。
- ・情報部会ではいつも勉強になることばかりで助かっています。経験年数ばかりが増えて、試行錯誤を続けている割にはこれと言った手応えがないままです。「情報科」は「これ」を学ぶ教科だ、という確たるものがぼんやりとでも見えていけばいいのですが。まだまだです。
- ・札幌市内の学校の情報教科研究会を毎年1回実施して情報交換ができれば心強いです。

- ・高教研に参加したいと思っておりますが、この時期は常に部活の大会の直近に実施されるため参加することが難しい。資料だけでもいただければと考えております。遠方のため移動にも時間を要し、なかなか参加できずにいます。
- ・総合学科で2時間連続の授業となっているが、施設設備が古いため、有効に使えていない。
- ・アンケート作成等、お疲れ様です。今後とも宜しくお願ひ致します。
- ・昨年もしかしたら書いたかもしれません。TTの制度の利用している学校のパーセンテージをこのアンケートで集計してほしいです。できればTTの先生の本来の教科名や授業に入る頻度も集計していただけたら嬉しいです。
- ・質問4において、1・3年の学校もあるかと思ひます。今年度はありませんが、昨年度まではありました。質問11において、校務により参加したくてもできないのが現状です。それっぽい項目があるとうれしいです。

- ・質問4について、本校は単位制のため、開設年次は定まっております。卒業までに単位が取得できていれば問題ありません。
- ・参加したいのですが、学校事情等で難しいです。まずはそこをクリアしなければ厳しいです。全く関係ない意見で申し訳ありません。
- ・今後、研究会に参加したいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひします。
- ・お疲れ様です。情報は、免許外で持っている先生方が多いと思ひますので、そのような先生方への講習会などがあれば参加しやすいと思ひます。そうでなければ、「行っても難しすぎてわからないだろうし・・・」になってしまうような気がします。
- ・サマースクールなど定期的に研修会の開催を今後もお願ひします。
- ・スマホの普及等によるパソコンとの関わりの減少を強く感じています。

4-3-6 全国情報教育研究大会参加報告

別添付の資料をご覧ください

MEMO